香川高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	文学作品購読
科目基礎情報					
科目番号	212004		科目区分	教養 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	創造工学専攻 (機械電子工学コース) (2023年度以前入学者)		対象学年	専2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	プリント配布				
担当教員	野口 尚志				
到達目標					
1. 日本近代文学作品を読み、その発想の仕方や、背景にある社会・文化とともに作品内容をとらえ、作家名や事項を記述できる。 2. 作品を通して社会や個人にかかわる問題意識を持ち、論述できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	日本近代文学作品を時代順に読み、その発想の仕方や、背景にある社会・文化とともに文学史をとらえ、作家名や事項を記述できる。		日本近代文学作品を時代順に読み、作家名や事項を記述できる。		日本近代文学作品を時代順に読み、作家名や事項を記述することができない。
評価項目2	作品を通して社会や個人にかかわる問題意識を持ち、客観的・論理的に論述できる。		作品を通して社会や個人にかかわる問題意識を持ち、論述できる。		作品を通して社会や個人にかかわる問題意識を持ち、論述することができない。
学科の到達目標項目との関係					
学習教育目標 A-1					
教育方法等					
概要	日本近代文学作品を読み、文学理論として普及している方法を学びながら実際に作品を読み解く。近代以降の文学者の思考と照らし合わせながら、現代を生きる我々が直面している課題との接点を見出し、意見として述べるができるようになってほしい。 ひいては、自分の課題や社会問題を分析的に見るための方法として身に着けることも視野に入れたい。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 作品に基づいた講義と、割り当てられた担当箇所の発表とを組み合わせて進める。担当でない受講者も討論に参加する。 作品を中心にプリントを配布するので、次回の授業までに必ず読んでくること。 講義以外に、レポート、ショートペーパーの提出を求められることがある。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 本科目の単位は高等専門学校設置基準第17条4項により認定される。1単位当たり45時間の学修により単位認定を行う。 オフィスアワーは月曜日放課後とする。 最終成績は、提出物30%、試験70%として2回の試験の平均点を最終成績とする。 				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング ☐ ICT 利用 ☐ 遠隔授業対応 ☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	全体ガイダンス 葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」	文学作品の読み方に方法論があることを理解する。	
		2週	芥川龍之介「桃太郎」	構造主義の基本と脱構築的な読み方について理解し、作品を分析できる。	
		3週	葉山嘉樹「淫売婦」	マルクス主義批評的な視点から作品を読解し、意見として述べるができる。	
		4週	大江健三郎「人間の羊」(1)	ポストコロナ批評の視点から作品を読解し、意見として述べるができる。	
		5週	大江健三郎「人間の羊」(2)	ジェンダー論的な観点から作品を読解し、意見として述べるができる。	
		6週	太宰治「皮膚と心」	これまでに学んだ視点から作品を読解し、各自の見解を論述する。	
		7週	まとめ	ここまで学んだ理論を用いながら、批評文の下書きをする。	
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	試験返却 夏目漱石「夢十夜 第一夜」	作品を読んで提示されている問題をとらえ、意見を述べるができる。	
		10週	芥川龍之介「奉教人の死」	作品を読んで提示されている問題をとらえ、意見を述べるができる。	
		11週	中島敦「文字禍」	作品を読んで提示されている問題をとらえ、意見を述べるができる。	
		12週	坂口安吾「桜の森の満開の下」	作品を読んで提示されている問題をとらえ、意見を述べるができる。	
		13週	村上春樹「納屋を焼く」	作品を読んで提示されている問題をとらえ、意見を述べるができる。	
		14週	今村夏子「あひる」	作品を読んで提示されている問題をとらえ、意見を述べるができる。	
		15週	まとめ	ここまで学んだ理論と作品読解をふまえながら、批評文の下書きをする。	
		16週	前期末試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	提出	合計	
総合評価割合		70	30	100	
評価項目 1		70	0	70	
評価項目 2		0	30	30	